

(別紙)

令和 6 年度事業報告

■採卵経営をめぐる情勢

令和 6 年度は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が全国的に解除され、経済社会活動が本格的に再開された年であった。外食産業が回復基調に入り、加えて円安の影響によりインバウンド需要が急増し、消費市場は活気を取り戻した。一方、採卵業界は依然として厳しい経営環境の中にある。

令和 5 年度の高病原性鳥インフルエンザによる過去最大規模の殺処分（約1,771万羽）からの生産回復が進んだことにより、鶏卵の供給量は徐々に持ち直した。その結果、令和 6 年前半の鶏卵相場は前年の高値（350円/kg前後）から調整局面に入り、東京市場における令和 6 年 1 月初値Mサイズ基準価格は180円/kgから低調に推移した。

しかし、令和 6 年10月には北海道を皮切りに、2 年ぶりとなる大規模な高病原性鳥インフルエンザの発生が再び確認され、全国14道県で51事例、約932万羽が殺処分される事態となった。殺処分方法に対しては、現場の負担や動物福祉の観点からも課題が指摘されるようになり、今後の対応策としてワクチン接種の是非を含む制度的な見直しが検討されている。

消費動向においては、鶏卵の価格相場が従来の100円台/kgから200円台/kgへと一段階引き上がり、一定の価格改善が見られたことは評価できる。しかし、飼料価格の高騰や業務用・加工用需要は依然としてコロナ前の水準には回復しておらず、特に加工向け市場の停滞が懸念材料となっている。

こうした状況を踏まえ、政府は「鶏卵生産者経営安定対策事業」や「成鶏更新・空舎延長事業」の再実施など、緊急的な支援策を講じた。また、当会をはじめとする業界団体は、農林水産省に対して、配合飼料価格安定制度の強化、国産飼料の利活用支援、そして高病原性感染症対策の予算拡充と体制整備を要望し続けている。

採卵養鶏業は、国民の食を支える基盤産業であると同時に、国家の食料安全保障において極めて重要な役割を担っている。今後の持続可能な経営の実現に向けては、省力化・スマート化技術の導入、コスト構造の見直し、そして柔軟な需給対応力の強化が不可欠である。

そうした情勢を踏まえ、昨年度具体的に展開した諸活動は以下のとおりである。

(1) 第58回通常総会

日 時：令和6年6月20日（木）

議 事：第1号議案 令和5年度事業報告に関する件

第2号議案 令和5年度収支決算および監査報告に関する件

第3号議案 令和6年度事業計画に関する件

第4号議案 令和6年度収支予算および会費の徴収に関する件

(2) 役員会・正副会長会議等

1) 第1回正副会長会議

日時：令和6年5月7日（火）

方法：現地参集・WEB 併用方式

内容：令和6年度総会提出議案・6月セミナーについてなど

2) 理事会

日時：令和6年6月12日（水）

内容：総会議案について など

※書面決議

3) 第2回正副会長会議

日時：令和6年8月7日（水）

方法：現地参集・WEB 併用方法

内容：9月セミナー など

4) 第3回正副会長会議

日時：令和6年11月8日（火）

方法：現地参集・WEB 併用方法

内容：農林水産大臣への要請・消費・安全局との意見交換 など

5) 第4回正副会長会議（拡大）

日時：令和7年2月6日（木）

方法：現地参集・WEB 併用方式

内容：3月セミナー・次年度活動について など

(3) セミナー・研究会等の開催

1) 6月セミナー

日時：令和6年6月20日（木）

方法：現地参集・WEB 併用方式

参加者：54 名

内容：

◆基調講演

「育種改良を通じて世界情勢を知る」（14：50～15：50）

株式会社アイエスエージャパン 代表取締役 後藤 直樹 氏

「岩村養鶏株式会社の経営方針」（15：50～16：20）

岩村養鶏株式会社 代表取締役社長 岩村忠輔 氏

◆飼料セミナー

①「トウモロコシの今後の相場見通しについて」

兼松株式会社 穀物飼料部穀物課 高橋 千明 氏

②「配合飼料について」

株式会社ゼンケイ 営業部 課長 岡村 こゆみ 氏

2) 9月セミナー

日時：令和6年9月26日（木）

方法：現地参集・WEB 併用方式

参加者：54 名

内容：

◆飼料セミナー

①「トウモロコシの今後の相場見通しについて」

兼松株式会社 穀物飼料部穀物課 高橋 千明 氏

②「配合飼料について」

株式会社ゼンケイ 営業部 課長 岡村 こゆみ 氏

◆飼料添加物セミナー

「広く浅く飼料添加物の基礎」

株式会社ゼンケイ 取締役本部長 高杉 庄太郎 氏

3) 12月セミナー

日時：令和6年12月13日（火）

方法：現地参集・WEB 併用方式

参加者：38 名

内容：

◆鳥インフルエンザセミナー

「鳥インフルエンザ対策の為のカラス対策」

株式会社 CrowLab 代表取締役 塚原 直樹 氏

◆育成就労制度セミナー

「改正入管法及び育成就労制度について」

一般社団法人 全国農業会議所 事務局長代理 黒谷 伸 氏

◆飼料セミナー

①「配合飼料について」

株式会社ゼンケイ 営業部 課長 岡村 こゆみ 氏

②「四半期コーン相場見通し」

兼松株式会社 穀物飼料部穀物課 高橋 千明 氏

4) 第 54 回全国農業経営者研究大会養鶏分科会（弊社主催）

日時：令和 7 年 2 月 2 日（金）

※鳥インフルエンザの流行のため中止

5) 3 月セミナー

日時：令和 7 年 3 月 18 日（火）

方法：現地参集・WEB 併用方式

参加者：34 名

内容：

◆基調講演

「腐植による家畜糞尿処理のご紹介」

株式会社 BYM 代表取締役 松井 和樹 氏

「最新の養鶏機材」

株式会社チューチク 都城出張所 三宅 信也 氏

ファッコジャパン株式会社 マーケティング部 部長 高木 俊行 氏

◆飼料セミナー

①「配合飼料について」

株式会社ゼンケイ 営業部 課長 岡村 こゆみ 氏

②「四半期コーン相場見通し」

兼松株式会社 穀物飼料部穀物課 高橋 千明 氏

(4) 青年部

1) 第1回役員会

日時：令和6年6月20日(木)

方法：現地参集・WEB併用方式

内容：令和6年度活動・現地研修会 など

2) 現地研修会

日時：令和6年10月1日(火)～2日(水)

場所：鳥取県

参加者：31名

内容：

◆1日目

意見交換会

◆2日目

「養鶏の6次産業化（店舗視察）」

有限会社ひよこカンパニー 代表取締役 小原 利一郎

3) 第2回役員会

日時：令和6年12月13日(金)

方法：現地参集・WEB併用方式

内容：令和6年度の青年部活動・今後の活動方針について など

4) 第3回役員会

日時：令和7年3月19日(水)

方法：現地参集・WEB併用方式

内容：令和7年度の青年部活動、今後の活動方針について など

5) 若い養鶏経営者のための春季セミナー

日時：令和7年3月19日(水)

方法：現地参集・WEB併用方式

参加者：34名

内容：

「タックジャパンの鶏糞事業」

株式会社タックジャパン 飼料畜産事業部 課長 柴田 健二 氏

(5) 情報活動

「全鶏つうしん」を中心とした情報提供 21回

※希望者にPDFファイルでメールやFAXを送信した。

(6) 研究・調査活動

1) 飼料価格実態調査(3回)

4－6月期、10－12月期、1－3月期

2) 卵の需給状況調査(1回)

(7) 各種団体との検討会等

1) 一般社団法人日本養鶏協会などとの各種打ち合わせ

2) 株式会社ゼンケイ(特別賛助会員)との意見交換、情報交換

3) 農林水産省生産局食肉鶏卵課との意見交換